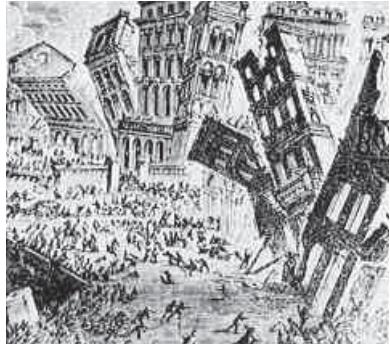




最高潮に達している。最大の被害者は子ども、女性、高齢者などである。ガザ北部のアルアハリ・アラブ病院が17日に狙われた。よもやイスラエル軍は標的にしないだろうとハマスは思っていたのか、キリスト教聖公会系の病院である。その付近からイスラエル目がけて攻撃していたのだろうか。今、北のシリア国、レバノン国にもイスラエルは砲撃している。



シリア国アレッポは2011年から内戦、2023年2月6日の地震で貧しい人々が呻いている。
Kaat Van Goubergen

昨年2月に全世界を驚かせたロシア・ウクライナ戦争、10月7日からイスラエル・パレスチナ戦争はだれも制止できない。人類の愚かさが最高潮に達している。最大の被害者は子ども、女性、高齢者などである。ガザ北部のアルアハリ・アラブ病院が17日に狙われた。よもやイスラエル軍は標的にしないだろうとハマスは思っていたのか、キリスト教聖公会系の病院である。その付近からイスラエル目がけて攻撃していたのだろうか。今、北のシリア国、レバノン国にもイスラエルは砲撃している。

イスラエル国家が1948年に突如としてパレスチナにできたのは、1917年に西側諸国、とりわけ英国外相のバルフォア宣言に基づいている。紛争の原因である。イスラエル側は神との契約だからという理由で領土を支配し、パレスチナ人を追い出す。米国の福音派のクリスチヤ



イスラエルは10月12日以降、隣国のシリア、レバノンにも爆撃している

創世記 17章8節は、「私はあなたの身を寄せており地、カナンの全土を、あなたとあなたに続く子孫にとこしえの所有地として与える。こうして私は彼らの神となる」。文脈の23節は立証している。割礼を受けた最初の者とは、アブラハムとだけだったのか。つまり「約束の地」について、「場」と時系列で有効であつたのはだれか。「アブラハムは息子のイシュマエル、家で生まれたすべての者、銀で買い取ったすべての者、すなわち、アブラハムの家の人々のうち、すべての男子を集め、その日、神が命じられたとおり包皮に割礼を施した」(23節)。「その子イシュマエルが包皮に割礼を受けたのは、十三歳の時であつた」(25節)。アブラハム契約はイサクがまだ生まれていない時に割礼を施した。(23節)。アブラハム契約はイサクが生まれたと8節

ア・ウクライナ戦争、10月7日からイスラエル・パレスチナ戦争はだれも制止できない。人類の愚かさが

歴史を遡るとまちがつた聖書解釈が紛争の原因であることが判明する。

災害、戦争、死によつて引き起こされるトラウマ

えの所有地」」「約束の地」はだれのものか。イスラエルだけのものではなく、イシュマエルも含まれる。現在のパレスチナ人とは、イシュマエルの子孫と考えられている。もつともユダヤ人もカナン(旧約で、神がイスラエルに与えたとされる約束の地)人やペリシテ人(「パレスチナ」という名称はここに由来する)の流れに属する子孫もある。パレスチナ人もユダヤ人の血が入っている。ユダヤ人とパレスチナ人は、ロシアとウクライナ両国とともに、明確な区別の線引きはできない。源頼朝と義経の殺し合い、織田信長や徳川家が身内で骨肉を争つた兄弟げんかは洋の東西を問わない。

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩村義雄(携帯070-5045-7127)
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区御幸町5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com
【石巻支所】 阿部とよ子 〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
【熊本支部】 大島健二郎 〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
【千葉支部】 嶋田博信 〒294-0234 千葉県館山市布良303
年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円(年会員1,600円)

戦争、人類史最大の人道悲劇を国際機関、超大国、世界は制御不能だ。だからといって、孤児、戦争や被災により夫をなくした独身女性、高齢の独居者を見殺しにはできない。祈りは行動である。



「なぜシリア・ボランティアに行くのか」
(記者会見 兵庫県記者クラブ) 2023年9月26日

※拙論「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか」
第2集」(WCWRP平和大学講座2022年4、5月販売)

ヤマザキ
世界のパン
ヤマザキ

Otsuka
株式会社大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)

MIYOSHI
ミヨシ石鹼株式会社
〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-1-1
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1

A decorative horizontal border consisting of a repeating pattern of stylized trees and flowers, flanked by large, dark, triangular arrowheads pointing towards the center.



杷木町の文字社 もんじしゃ 2023年8月7日



奥山に建設した「山の神砂防ダム」は土砂が堆積して危険。さらに上の新たなダム工事に着工している。 2023年10月3日

球磨川（熊本豪雨）ボランティア

大島健二郎

▼日本は地方を切り捨てる

8月7日、台風6号による悪天候

襲つた。私たちは毎月、6年間通い続けている。40人が犠牲になり、いまだに1人行方不明で

ある。土木工事に約600億円の税金を用いて上流に砂防ダムをいくつも張りめぐらしている。河川工事、土木工事、水害対策

川工事 上流の砂防ダム建設
道路の復旧工事がなされてきた。
出来レースの住民説明会があつ
らかれてダンプが河台も通つて住

民は砂埃に耐えてきた。美しかった景観も損なわれた。神戸国際支縁機構は無用なダム建設についてずっと発信してきた。メディアもとりあげない。その挙げ句の悲劇、社殿があつた文字社は再び土砂に覆われた。機構の村上裕隆兄、野田健二兄、本田博之兄の3人は、唖然とした。

「普段、穏やかな梶原明彦宮司（62歳）は、「許せない、人災だ」と声を荒げた。仮住まいの隣接の家のガス給湯器、家電製品なども使い物にならなくなつた。1万円弱の見舞金がでるだけで被災の補償は一切ない。江戸時代からの稀観書も泥に覆われ、損なわれた。社殿にもフレコンバッグが積み重なつて人が住める状態ではなくなつてゐる。國宝金明竹も跡形もない。

稻刈り
2023年10月2日 熊本県球磨郡相良村
熊本県豪雨の日に神戸から救援にかけ
つけた。あれから3回目のコメを園児た
ちとつくつていてる。

新たな砂防ダムを建設しようとしている。20億円はかかるだろう。被災者は生活のため、朝倉市役所、福岡県庁の行政にかけあっても相手にされない。泣き寝入りだ。近隣の幼なじみの藤玄洋さん（西宗寺住職）たちもボランティアにかけつけた。

都会と異なり、超高齢化の過疎地は選挙の投票率は高い。○○先生がインフラ整備に中央からお金をとってくるという理由だ。つまり蜘蛛の巣のように張りめぐらした利権システムは地方から日本全体に巣くつて

球磨川（熊本豪雨）当日に神戸から救援に。あれから3度目のコメを園児たちとつくる。田んぼには大きなゲンゴロウ、水カマキリ、きれいなイトトンボがいる。雑草をとるために農薬を用いないからだ。虫を殺すネオニコチノイド系農薬を遣わない米を用いてきた。小さなノコカマでサクッと稲を刈り、さおがけをする。天日干しである。機械で乾燥させないからミネラル豊かでおいしい。園児たちも楽しみにしている。今年は、もち

いる。中央の政治家、官僚、ゼネコンだけが高いびきである。これではいつになつても災害大国の汚名は返上できない。

『人吉新聞』(2023年10月5日付)

31年ぶり、 ゼロから翻訳した新しい聖書

『聖書 聖書協会共同訳』 - 2018年12月発行 -

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会



人によし、社会によし、未来によし。

 ミヨシ油脂株式会社

〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
<http://www.mizukoshi-mashiro.jp>





事務局便り

理事長 本田寿久

北上川（岩手・宮城）は、洪水によって河川流域の土地を肥沃にして作物を実らせてきた。一方、洪水により、人命や家屋の犠牲も避けることはできなかった歴史もあった。東北ボランティアを通じて、水害を防ぐために人身御供、人柱のいたたましい記録を知った。そこで今から5年前、2018年8月22日、人柱の伝承がある「お鶴明神」（宮城県登米市中田町）という祠に、宮城神社本庁に前理事長岩村義雄代表は許可をとった。鎮魂のために、大國龍笙（伊去波夜和氣命神社）宮司と吉野雄一（渡波地区振興協議会）会長をお連れした。しかし、人柱説について、「工事を堅固にするために、その底に人間を生埋にするというのが眞の意義……人柱伝説は一から十まで純粹の空想的産物」と否定する見解もある『日本神話伝説の研究2』（高木敏雄、大林太良編 東洋文庫 平凡社 1988年 173頁）。

一方、第146次東北ボランティアで人柱について、フェイスブックで報告すると、反響が大きかった。日本の民俗学者である柳田國男 [1875-1962]、折口信夫 [1887-1953]、南熊楠 [1867-1941] の民間伝承に歴史的事実があるという声が寄せられた。



左 岩村義雄代表 右 大國龍笙宮司
2023年10月17日

神戸国際支縁機構は大國宮司に田んぼの祝詞をあげてもらうだけでなく、12年のおつき合いをさせていただいている。とても親しくさせていただいている。人柱にしても、大國宮司はなにごともあいまいにする風潮が日本をダメにしていると辛口であられる。お二人はいつも童心に帰って話せる貴重な間柄である。

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替
口座 00900-8-58077
加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構 神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には書ける方は『国名』を書き添えてください。

（一社）神戸国際支縁機構

ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

被災地への支援物資もお願いします。

年会費をお願いします。（月に200円）

会員（年度4月～翌3月）の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

海外の孤児のために支援金をお願いします。

「小さくされた人々のための福音」講座
毎月第3金曜日 午前10時～
神戸学生青年センター 本館1階

岩村義雄セミナー
毎月第4月曜日 午後6時半～
ミント神戸17階

編集後記

2016年4月16日、熊本地震が発生すると熊本県から依頼で愛児園で炊き出しに神戸国際支縁機構は仕えた。私は、単身、建設現場でパートをしながら被災地ボランティアを続けた。勤務していた朝日創建で、モルジブ人ナジャーフ・モハメドさんと親しくなった。ところがナジャーフさんが2021年12月に温泉施設で二人の少年に性的暴行したために、「少年は多大な精神的苦痛を受けていて刑事責任は重大」として、少年の下半身を触ったという証言だけで、懲役4年6か月の実刑判決という報道に接し、目の前が真っ暗になってしまった。なぜならナジャーフさんは異国の地に来て、日本語も流暢でないからである。友として慰めるために、2023年10月8日、収監されているとおぼしき熊本刑務所を探した。そこにおられた。奥さまは毎日面会に来ている。10歳になる息子さんもいる。裁判は本人が容疑を否認しているにもかかわらず、判決があり、投獄された。私が面会にきた唯一の日本人であり、ナジャーフさんはたいそう喜ばれた。無実であろうとなかろうと、外国人に偏見をもちやすい空気がある。引き続き、交通費、時間、体力を使って、ナジャーフさんをいたわり、ねぎらう働きを続けていきたい。

事務局 大島健二郎



『神戸新聞』(2016年6月30日)

救援金、維持会費のご協力を感謝します。（敬称略）

2023年7月16日～10月19日

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、本田商会（6）、佐々木美和、日本自由メソヂスト葛城キリスト教会、清水孝紀、保田薰、沖浦宏隆（千葉県布良）（3）、有田真一＆美栄子（3）、羽柴修、辻良雄、服部良一、村田優美子、鳴田博信＆礼子（千葉県布良）（2）、柳澤豊、大島健二郎（5）、阿部和夫＆斎子（宮城県石巻市）（2）、兵頭晴喜、河村ひとみ、千葉幸一（宮城県石巻市）（4）、保田茂、土手ゆき子、土手朋、木村ふみ子（石巻市）、宝塚栄光教会（3）、岩間洋＆千恵子（3）、袴田康裕、吉田隆、緒方真喜代（熊本県相良）、田中順子、前川和弥＆幸子（4）、岩本久吉＆眞子（福岡県松末）（2）、石井万紀子、酒巻美和子、「小さくされた人々のための福音」講座（2）、野田健二（3）、祐照寺（古川真照住職）、鈴木敏夫、小笠原貞夫、大野祐弥、日本基督教団神戸栄光教会、高野国昭、竹内喜子、中條和子、第3回目神戸在住ウクライナ人の集い、石井泰代、民部綾子、庄司慈明（宮城県石巻市）、吉持志保、守屋香代子、石川久子、今井奈緒子、高祐二、宮本博美、北村敏泰、武智務、阿部艶子、松崎徹、金恒勝、辻本久夫、中山圭子、大嶋善直、岸本豊、岡部徹、鄭惠姫、菅原千春、畠中裕子、小島千鶴、春原和子、島田徹、館山市勝蔵寺（田口秀明住職）、井本敦幸、池田裕子、岡満恵、今村佳代子（佐賀県大町町）、藤野知香、森川正美、鳥飼トモ子、生活協同組合コープ神戸、武田多美、秋田壹代子、大沢友子、泉晴代、Prince Amankwah（Ghana）、永野由美子、西上千糸子（3）、Sora Cho、大田次郎、大槻良文、川西一市民、吉俣正光（2）、佐藤紀子（宮城県多賀城）、白瀬悦子、櫻井由里子、神部隆三、佐々木延弘（西光院住職）、神戸ユニオン教会、湯川紘未、日本キリスト教団芦屋三条教会、佐々木駿介、藤原りつ子、坂井良行（高野山真言宗西方院住職）、左成和朗、古川直子、ブイ・ティ・オアン（神戸ベトナム人会会長）、バルク良子、神戸聖福教会、李敬淑、合同会社 Bless 泉眞姫、古川和子 512,750 円

フードバンク関西、佐藤金一郎＆晴美（宮城県渡波）からオロナミンC（2）、本田寿久から車載冷蔵庫、徳留由美から薩摩名物、松末地域コミュニティ協議会からニンニク、梶原ミスミ（福岡県松末）からしいたけ、山下寛＆弘美からそうめん、前川和弥＆幸子から茶菓、生活協同組合コープ神戸からコメ、山下商事（熊本県相良）から梨、蓑毛良介＆かず子（熊本県相良）から柿など、Andy Hayhurst、Serhii Lesniak、Anna Shevtsovから靴下など、山本稔（イエス・キリスト聖成伝道教会）から梨、バルク良子から寿司、丹野典彦（宮城県石巻市）から海苔、長浜幼稚園からお茶、梶原ミドリ（福岡県松末）からコーヒーなど、堀真由美（福岡県松末）から菓子、樋口喜寿江（福岡県松末）からニラなど、出井洋子（福岡県松末）から栗、ブイ・ティ・オアン（神戸ベトナム人会会長）から菓子、小谷福哲＆由喜枝（千葉県布良）からお茶、愛沢伸雄（千葉県館山市）から資料、丹野美樹子（宮城県渡波）から焼海苔など

第38回 日韓交流信徒大会

日 時：2024年1月8日（月・成人の日） 10時半～15時

講 師：岩村義雄

会 費：2,000円（学生1,000円）（昼食代を含みます）

会 場：日本基督教団甲東教会

住 所：西宮市甲東園1丁目2-15 阪急今津線甲東園駅 東へ徒歩2分

電 話：(0798) 51-0454

主 催：日韓交流信徒大会実行委員会

在日大韓基督教西部地方会宣教協力部

日本基督教団兵庫教区 在日大韓基督教會宣教協力委員会



相撲を通じて青少年の豊かな心身の育成に取り組んでいた「第32回石巻わんぱく相撲選手権大会」が明神社相撲場で開催された。石巻市内の小学校6年生までの29人が出場。例年、神戸国際支縁機構も協賛に加わらせていただいている。相撲には勝利主義はない。